



**The Asia Foundation**

**「ビジネスとCSR」  
～国際協力がビジネスチャンスになるとき～**

**アジア財団日本事務所**

**日本代表**

**ベツシャー・アルセニ**

**Arseny Chuk Beshher**

# CSR: 国際協力に不可欠な視座

---

- 最貧困層救済に視点を置く国際協力は例えるならば病理に対するバンドエイド処方
- キャパシティー・ビルディングの重要性
  - 個人の可能性を引き出す
- ガバナンスの重要性
  - 市場や行政のハードルを取り除く
    - 法整備
- 豊富な経験とノウハウと現地のネットワークにたけている国際NGO等とのパートナーシップで効率的に実施



## BOP: 企業戦略への反映

---

- 社会貢献を目的とし意識するビジネスは成功する
- 右へならえ的な小手先だけの社会貢献は企業の大きな負債になりかねない
- 競合企業との差別化のために、社会貢献の広報は重要  
広報活動を自己検証や第三者からの評価の機会としてとらえる
- PRは内容が重要  
地に足のつかない広報は悪影響を及ぼしかねない
- 企業内の専門家を育成し  
彼らを軸として企業外の専門家を活用する



# BOP的プログラム例： 世界銀行/JSDF

- 世界銀行/JSDF(日本社会開発基金)：  
タイにおける津波被害後の市民法律相談
  - 日本政府(財務省)の拠出により世界銀行が運営するJSDFより  
アジア財団が受託  
＝経験豊富な国際NGOへの協力要請
  - 津波災害後に浮上した様々な権利問題の  
解決に市民による法律の活用を支援する  
プログラムを実施  
＝市民のキャパシティー・ビルディング
  - 津波災害後の法的権利問題、法整備問題  
に対処  
＝ガバナンス的対応



# BOP的プログラム例： マイクロソフト社

- **マイクロソフト社：**  
中国における国内移民労働女性用のIT教育センター
  - **マイクロソフト社のCSRの一環として、広東女子職業技術学院（Guangdon Women's Professional Technical College）の協力により、IT 技術講習センター を開設**  
＝経験豊富な国際NGOに協力要請
  - **手に職を持たない国内移住労働者の女性にIT技術スキルの取得機会を提供**  
初年度は約1,000名が受講  
＝市民のキャパシティー・ビルディング
  - **自治体や地元共産党委員会の協力も取得**  
＝ガバナンス的対応

